

平成30年度事務事業評価シート

平成30年6月29日作成

事業番号	003938	担当課等	公園課							
事務事業名	防犯カメラ設置事業									
予算科目コード	会計	01	款	07	項	04	目	02	事業開始年度	平成 28 年度

1 事業概要(平成30年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P114 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	3 四季彩と暮らしが調和した安全・安心のまちづくり	III 安全な暮らしの確保	4 防犯	(1) 防犯体制の充実	② 防犯環境の整備				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
		○							
目的	公園の施設破損や近隣住民の安全を図るもの。								
対象	町民								
内容	主に市街地の公園に防犯カメラを設置するもの。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(見込)		
	事業費	2,435,400	1,895,400	1,870,000	
コスト 人件費	常勤職員	925,260	899,130	904,680	
	非常勤職員等	0	0	0	
	人件費合計	925,260	899,130	904,680	
総事業費	3,360,660	2,794,530	2,774,680		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	235,000	261,000	176,000	
	地方債	0	0	0	
	その他特定財源	0	0	0	
	一般財源	3,125,660	2,533,530	2,598,680	
	財源合計	3,360,660	2,794,530	2,774,680	
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成28年度	平成29年度	目標値
防犯カメラ設置台数		台	16	9	16
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成28年度	平成29年度	目標値
防犯カメラ設置総数		台	16	25	32

3 平成29年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 町の施設である公園の施設破損等防止の観点から町で実施すべきである。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 防犯に効力を発揮していることから効果は得られている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 安全安心の観点で成果は得られていると思われる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	3 対象者は公園利用者及び近隣の住民等である。

平成29年度までの自己評価または改善点	今までの改善点を考慮し、事業を進めたので満足 of いくものとなっている。
---------------------	---------------------------------------

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	3 工事のみの事業であり、設計・積算は課員で行うことができるので必要はない。
平成30年度の見直し及び改善(実績または予定)	引き続き今までの改善点を考慮した設計・積算を行う。
平成31年度以降の方向性	平成30年度事業にて市街地の公園には概ね設置できることから、平成31年3月末までに事業を完了としたい。

5 一次評価(平成31年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	完了	平成31年3月完了予定
------	----	-------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

設置については、計画的に実施すること。
---------------------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	完了	
------	----	--

平成30年度事務事業評価シート

平成30年6月29日作成

事業番号	003942	担当課等	公園課							
事務事業名	ME-BYO対策健康遊具整備事業									
予算科目コード	会計	01	款	07	項	04	目	02	事業開始年度	平成 27 年度

1 事業概要(平成30年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P114 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	3 四季彩と暮らしが調和した安全・安心のまちづくり	IV 計画的な土地利用の推進	3 公園・緑地水辺	(1) 公園の整備	① 都市公園の整備				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	町民の健康を図るもの。								
対象	13歳以上の町民等								
内容	街区公園等都市公園に健康遊具を設置するもの。								

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(見込)		
コスト	事業費	9,126,000	4,860,000	2,776,000		
	人件費					
	常勤職員	925,260	899,130	904,680		
	非常勤職員等	0	0	0		
	人件費合計	925,260	899,130	904,680		
	総事業費	10,051,260	5,759,130	3,680,680		
財源内訳	国庫支出金	0	2,430,000	1,388,000		
	県支出金	4,713,000	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他特定財源	0	0	0		
	一般財源	5,338,260	3,329,130	2,292,680		
	財源合計	10,051,260	5,759,130	3,680,680		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成28年度	平成29年度	目標値
健康遊具設置基数			基	9	3	3
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成28年度	平成29年度	目標値
健康遊具設置総数			基	12	15	16

3 平成29年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 町民の健康を図るための事業であることから町が実施する必要がある。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 利用者からの評価が高いことから効果は得られていると思われる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 利用者からの評価が高いことか町民の健康を図る面で成果は得られている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4 13歳以上の方は利用可能でおおむね各地区に配置されていることから機会は均等である。
平成29年度までの自己評価または改善点	利用者からの評価が高いことから、設置の効果については満足のいくものとなっている。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	工事のみの事業であり、設計・積算は課員で行うことができるので必要はない。
平成30年度の見直し及び改善(実績または予定)	引き続き今までの改善点を考慮した設計・積算を行う。	
平成31年度以降の方向性	平成30年度事業にて概ね設置できることから、平成30年8月末までに事業を完了としたい。	

5 一次評価(平成31年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	完了	平成30年8月完了予定
------	----	-------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・県支出金を活用しながら、計画的に推進すること。</li> <li>・利用状況の検証を行うことで、今後の設置場所も検討する必要がある。</li> </ul>
---

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	完了	
------	----	--

平成30年度事務事業評価シート

平成30年6月29日作成

事業番号	003988	担当課等	公園課							
事務事業名	海浜公園プール維持修繕事業									
予算科目コード	会計	01	款	07	項	04	目	03	事業開始年度	昭和 61 年度

1 事業概要(平成30年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P68 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	2 ともに支えあい笑顔で 暮らせるまちづくり	II 福祉の充実	2 児童福祉・子育て 支援	(1) 子どもたちが生き 生きと育つための 環境づくり	② 健全な遊び場や交流 の場の確保				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
		○							
目的	海浜公園のプールは町内で唯一のプールであり、夏季の遊び場や交流の場として運営するため維持修繕を行うもの。								
対象	プール利用者								
内容	プールを運営するため鉄部の塗装や老朽化した底板の補修など、プール全般に必要な施設の修繕を行うもの。								

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(見込)		
コスト	事業費	2,493,720	2,477,736	2,942,000		
	人件費	647,682	629,391	633,276		
	非常勤職員等	0	0	0		
	人件費合計	647,682	629,391	633,276		
	総事業費	3,141,402	3,107,127	3,575,276		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他特定財源	0	0	0		
	一般財源	3,141,402	3,107,127	3,575,276		
	財源合計	3,141,402	3,107,127	3,575,276		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成28年度	平成29年度	目標値
開場日数		プール稼働日数	日	45	48	48
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成28年度	平成29年度	目標値
プール入場者		プールの有効活用	人	10,011	8,263	11,100

3 平成29年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	誰もが利用できる公園プールは、地域の住民や観光客に様々な利用をされており、夏季の子どもの遊び場として、安全安心なプール施設を維持する必要がある。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	採算性を求める事業ではないが、プール施設の不備による大きな事故などはないことから、プール利用者の安全が確保されており、効果は得られている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	プール設備の不備による大きな事故はなく、プール利用者の安全性が確保されているため、目的に対する成果は得られている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4	プールは町民や観光客等誰でも利用できることから受益の機会は一定の均等が図られている。

平成29年度までの自己評価または改善点	労務単価及び設計単価が上がったことにより、平成28年度に比べ、平成29年度は、プールサイド床のノンスリップ塗装の割合が減った。
---------------------	---

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	3 工事のみの事業であり、設計・積算は課員で行うことができるので必要はない。
平成30年度の見直し及び改善(実績または予定)	プール施設の維持向上のため、毎年行っている塗装に加え、流水プールのコーキング補修も行った。
平成31年度以降の方向性	不要な設備の撤去を検討し、塗装箇所を減らし、管理棟の補修や全体的な壁の塗装に着手したい。

5 一次評価(平成31年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	プール利用者の安全安心のため年度計画に沿って修繕していくこと。
------	----------	---------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし
------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

平成30年度事務事業評価シート

平成30年6月29日作成

事業番号	007825	担当課等	公園課							
事務事業名	公園長寿命化計画事業									
予算科目コード	会計	01	款	07	項	04	目	02	事業開始年度	平成 30 年度

1 事業概要(平成30年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
ゆがわら2011プラン 後期基本計画	3 四季彩と暮らしが調和した安全・安心のまちづくり	IV 計画的な土地利用の推進	3 公園・緑地水辺	(1) 公園の整備	① 都市公園の整備				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
		○							
目的	町民や公園利用者の安全安心のため、公園施設の健全度等を把握し、計画的な維持管理を行えるようにするもの。								
対象	公園利用者								
内容	長寿命化計画を策定し、それに基づいた補修等を行うもの。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(見込)		
	事業費	0	0	9,882,000	
コスト 人件費	常勤職員	0	0	1,357,020	
	非常勤職員等	0	0	0	
	人件費合計	0	0	1,357,020	
	総事業費	0	0	11,239,020	
財源内訳	国庫支出金	0	0	4,000,000	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他特定財源	0	0	0	
	一般財源	0	0	7,239,020	
	財源合計	0	0	11,239,020	
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成28年度	平成29年度	目標値
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成28年度	平成29年度	目標値

3 平成29年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)	
必要性	町が実施する必要があるのか
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か
平成29年度までの自己評価または改善点	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	3 計画の策定は委託としているが、その後は工事を行うこととなり、設計・積算は課員で行うことができるので必要はない。
平成30年度の見直し及び改善(実績または予定)	長寿命化計画の策定を行う。
平成31年度以降の方向性	平成30年度に策定する長寿命化計画に基づき、補修等工事を行って行きたい。

5 一次評価(平成31年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	策定した公園長寿命化計画に基づき計画的に補修等工事を行って行くこと。
------	----------	------------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

公園の維持管理については、優先順位を定め、計画的に修繕等を行う。
----------------------------------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------



平成30年度事務事業評価シート

平成30年6月29日作成

事業番号	004069	担当課等	公園課							
事務事業名	アスレチック遊具改修事業									
予算科目コード	会計	01	款	07	項	04	目	05	事業開始年度	平成 20 年度

1 事業概要(平成30年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P68 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	2 ともに支えあい笑顔で 暮らせるまちづくり	II 福祉の充実	2 児童福祉・子育て 支援	(1) 子どもたちが生き 生きと育つための 環境づくり	② 健全な遊び場や交流 の場の確保				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
		○							
目的	老朽化した幕山公園のアスレチック遊具を補修し、安全を図るもの。								
対象	公園利用者								
内容	経年により劣化したアスレチック遊具の木部を交換し、また、新たに遊具を設置するもの。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(見込)		
	事業費	0	2,397,600	6,700,000	
コスト	常勤職員	0	899,130	904,680	
	非常勤職員等	0	0	0	
	人件費合計	0	899,130	904,680	
総事業費	0	3,296,730	7,604,680		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他特定財源	0	0	0	
	一般財源	0	3,296,730	7,604,680	
	財源合計	0	3,296,730	7,604,680	
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成28年度	平成29年度	目標値
補修遊具数	施設の安全維持	基	0	1	1
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成28年度	平成29年度	目標値
要補修遊具数		基	1	0	0

3 平成29年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 街区公園の遊具同様、危険性のあるアスレチック遊具を補修することは施設管理者の義務である。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 補修を行うことにより、利用不可能の遊具が利用可能となるので十分効果が得られている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 幕山公園のアスレチック遊具は、利用頻度が高く補修を行うことによって安全を図ることについて維持の面で成果は得られている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4 年代や利用時間を問わず利用可能な施設につき、受益の機会均等である。

平成29年度までの自己評価または改善点	点検結果に基づき補修を行っていることから危険回避はできている。
---------------------	---------------------------------

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	工事のみの事業であり、設計・積算は課員で行うことができるので必要はない。
平成30年度の見直し及び改善(実績または予定)	点検により危険と判断され、解体撤去を行った遊具の代替として、新たな木製遊具の設置を行うので、多くの利用者に楽しんでもらえる。	
平成31年度以降の方向性	平成30年度に策定する長寿命化計画に基づき補修を行っていきたい。	

5 一次評価(平成31年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	策定した公園長寿命化計画に基づき計画的に補修等工事を行って行くこと。
------	----------	------------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし
------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--